

お知らせ

愛媛大学医学部附属病院では、医学・医療の発展のために様々な研究を行っています。その中で今回示します以下の研究では、わが国における造血細胞移植データベース（日本造血細胞移植学会・造血細胞移植登録一元管理委員会）を使用します。

この研究の内容を詳しく知りたい方や、造血細胞移植データベースに登録された情報を利用することをご了解いただけない方は、下記【お問い合わせ先】までご連絡下さい。

【研究課題名】

再生不良性貧血に対する同種造血幹細胞移植後サイトメガロウイルス再活性化の移植後予後に及ぼす影響に関する研究

【研究機関】 愛媛大学医学部附属病院血液・免疫・感染症内科

【研究責任者】 竹中克斗（血液・免疫・感染症内科 教授）

【研究代表者】 竹中克斗（血液・免疫・感染症内科 教授）

【研究の目的】

わが国における造血細胞移植データベースに登録された情報を利用し、再生不良性貧血の患者さんの移植後ウイルス感染症の移植後経過に及ぼす影響について評価する研究を行うことといたしました。この研究は再生不良性貧血における有効な治療方法の検討を目的としたものであり、今後の診療にも役立つことができると考えています。

【研究の方法】

（対象となる患者さん）2005年1月から2017年12月に再生不良性貧血に対して愛媛大学医学部附属病院を含む日本全国の造血細胞移植データベース利用施設で造血幹細胞移植を受けられた方の中で、造血細胞移植データベースに、移植情報の提供に同意された患者さん

（利用する情報）造血細胞移植データベース（日本造血細胞移植学会・造血細胞

移植登録一元管理委員会)に登録された情報(性別、年齢、発症時期、合併症、移植治療 移植後合併症 移植後ウイルス感染症 等)

【共同研究について】

この研究は、他の病院や研究施設と共同で行っています。

対象となる患者さんのデータは、日本造血細胞移植データセンターにおいて、すでに匿名化されており、また、CD-Rに保存した電子ファイルを郵送することによって、日本造血細胞移植データセンターより、愛媛大学附属病院に送られます。多くの情報を解析することで、医学・医療の発展に役立つ成果が得られることが期待されます。

【個人情報の取り扱い】

収集された情報は名前、住所など患者さんを直接特定できる情報を除いて、日本造血細胞移植データセンターで匿名化されています。個人を特定できるような情報が外に漏れることはありません。また、研究結果は学術雑誌や学会等で発表される予定ですが、発表内容に個人を特定できる情報は一切含まれません。

＜試料・情報の管理責任者＞日本造血細胞移植データセンター・センター長・熱田由子

さらに詳しい本研究の内容をお知りになりたい場合は、【お問い合わせ先】までご連絡ください。他の患者さんの個人情報の保護、および、知的財産の保護等に支障がない範囲でお答えいたします。

【お問い合わせ先】

愛媛大学医学部附属病院血液・免疫・感染症内科 竹中克斗

〒791-0295 愛媛県東温市志津川

Tel: 089-960-5296